

経営比較分析表（平成30年度決算）

岐阜県 岐南町

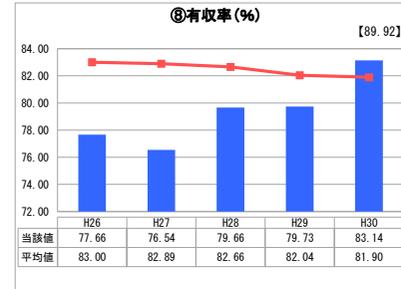
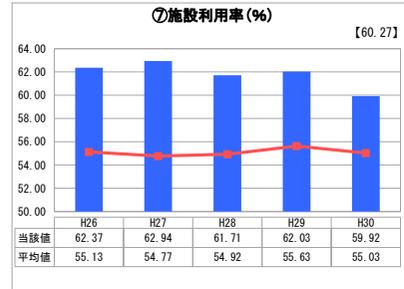
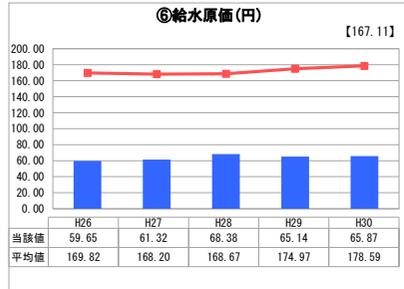
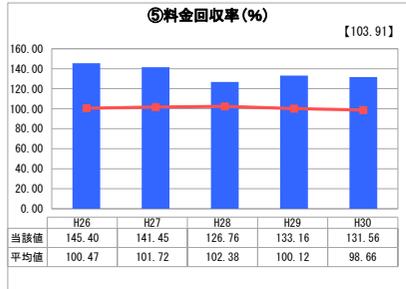
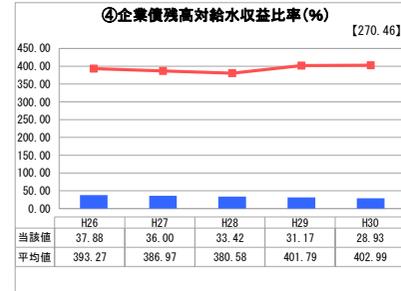
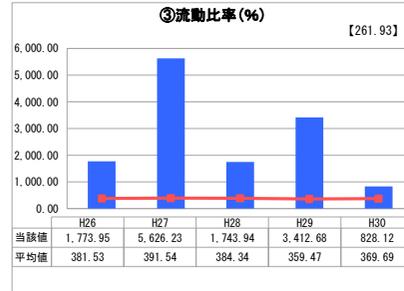
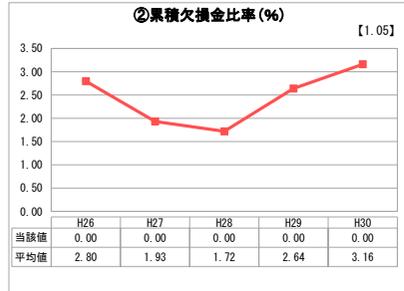
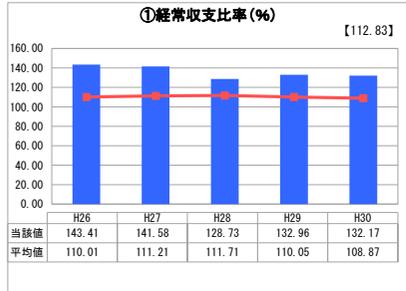
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)	
-	93.61	99.50	1,672	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
25,685	7.91	3,247.16
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
25,532	7.91	3,227.81

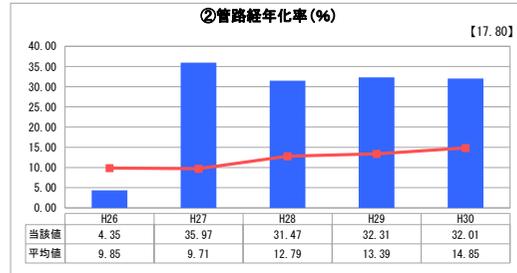
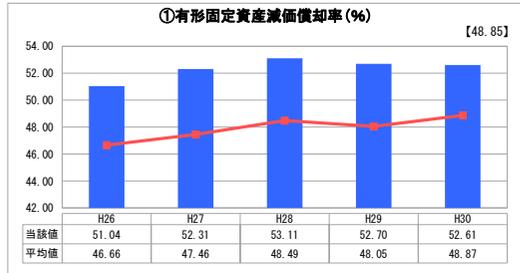
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は継続的に100%以上を保っており、経営に必要な費用は料金収入で賄うことができている。また、給水収益に占める企業債務高割合は、平成14年度以降借入を控えていないことから低い値となっており、料金回収率については高い水準を維持していることから、経営状況は比較的健全な状況にあるといえます。

経営の効率性については、当町はコンパクトな地形に人口が密集しているため水源施設は3箇所と少なく、地下水にも恵まれていることにより浄水処理は塩素減菌のみで提供することができると、施設面における費用は低く抑えられており、給水原価の安さの一因となっています。また、施設利用率も比較的高く類似団体平均値を上回っていることから、効率的に経営できているといえます。有収率については、平成27年度からの漏水調査等の対策により類似団体平均値を上回る結果となりました。引き続き漏水調査、老朽管の更新、修繕を実施し有収率の向上に努めていきます。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率が増加傾向にあることや、管路経年化率が高い値を示していることから、法定耐用年数に近ついた又は超過した施設・管路を大量に有しています。平成30年度も継続的に管路更新工事を実施したことにより管路更新率が類似団体平均値を上回っております。今後も計画的に更新工事を実施してまいります。

※②平成27年度の管路経年化率が急激に伸びているのは、布設年度が不明な管路を法定耐用年数を超過したものと一括計上しているため。

全体総括

経営の健全性及び効率性については、良好な状態にありますが、老朽化した水源施設や管路の更新需要を多く抱えているため水道ビジョンに沿った計画的な更新工事を継続的に実施していく必要があります。

今後、施設及び管路の更新で多額の費用が必要になることから必要な需要額を賄う財源を中長期的な経営の中で計画的かつ適切に確保するため、令和2年度に経営戦略の策定を予定しています。